

1月の予定

2014年12月19日
野毛山幼稚園



主 題	気づきあう
ね が い	冬の生活習慣を身につける 友だちと協力し、アイデアを出し合い、工夫して遊びを充実させる お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じる

聖句 見よ、兄弟が共に座っている。
なんとという恵み、なんとという喜び。

詩編133編1節

両親はイエスさまが12歳になられた時、祭りの慣習に従って都エルサレムにのぼりました。少年イエスは神さまの話を聞いて、神殿に残っていたため、両親とはぐれてしまいました。両親は必死の思いで探し回ってイエスさまを見つけた時、母マリアは言いました。「なぜこんなことをしてくれたのです。お父さんもお母さんも心配して捜していたのです」と、イエスさまは言われました。「どうして私を捜したのですか。私が父の家にいるのは当たり前だということを知らなかったのですか。」人間の親であれば当然のことで心配をします。けれども、母マリアはイエスさまには「普通とは違う特別なことがあるようだ」とその出来事を心の中に納めていました。イエスさまが誕生した時、羊飼いや博士たちがイエスさまに会いに来た…という数々の出来事も母マリアは心の中に納めていました。その時にはわかりませんでした。やがて天使ガブリエルから「生まれてくる子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる」と言われたことが少しずつわかってきたのだと思います。イエスさまの家族は「家族」であることには違いはありませんが、イエスさまは「わたしの母、私の兄弟とは神の言葉を聞いて行方の人たちである」と、家族以上のつながりを地上にもたらせようとなされたのです。私たちは子どももおとなもみんな神さまの家族です。お互い支え合いながら、神さまの示してくださる道を行きたいと思えます。

予 定

日	曜	予 定	備 考
8	木	第3学期始業式	
9	金	航空写真 撮影	
12	月	成人の日	
14	水	誕生会	
15	木	講演会 大賀たえ子先生	
16	金	おもちつき	12時45分降園
		個人懇談	
19	月	個人懇談	12時45分降園
21	水	読み聞かせの会	保護者希望者参加

今年の成人式では第50回生アネモネ組が成人の仲間入りです。

こひつじ

ランチ始まり 13日(火)

個人懇談の日を除くランチのある日

歯みがき指導

20	火	年中ひまわり組
27	火	年長チューリップ組



年 長(チューリップ組)	年 中(ひまわり組)	年 少(もみじ組)
冬休み中の経験をわかるように話す。	経験したことを話したり聞いたりする。	思いきり身体を動かして遊ぶ。
自分の考えを相手にわかるように伝える。	思いきり身体を動かして遊ぶ。	追いかけたり、追いかけられたりすることを楽しむ。
寒くても戸外に出て身体を動かして遊ぶ。	みんなと一緒に活動することの楽しさを知る。	乗り物遊びなどを通して、順番や簡単なルールを知る。
お正月のあそびを楽しむ。	お正月のあそびを楽しむ。	自分の思ったことや感じたことをことばや態度で伝える。
おもちのできるまでの様子を見る。	新しくなったカレンダーに興味を持つ。	お正月のあそびを楽しむ。
おもちつきの経験をする。	友だちとのつながりを深める。	冬の衛生に気をつける。
冬の自然に興味、関心を持つ。	おもちつきの経験をする。	冬の自然にふれる。
さまざまなことに目を向け、気づく心を持つ。	冬の自然に関心を持つ。	曲にあわせて歌ったり、踊ったりする。
わたしたちはいのちをいただいて生かされていることを感じ、感謝の気持ちを持つ。	冬の衛生に気をつける。	たくさんの絵本や紙芝居に親しむ。
わからないことや不思議に思ったことを調べる。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。	おもちつきを経験する。
楽しく歌ったり、ことばの意味を考えながら表現したりする。	のげやまワールドの話聞き、楽しみにしながら準備をする。	のげやまワールドの話聞き、楽しみにしながら準備をする。
新しいカレンダーに関心を持ち、一日一日を大切に過ごす。		
自分たちで話し合い、のげやまワールドの準備をしていく。		

